

ヘルスケアミーティング 2025 ポスター発表について

## 日常の実践を「見える化」し、学びと交流の輪を広げましょう

曾野偉錬（コアメンバー）

平素より、日本ヘルスケア歯科学会の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

本学会では、会員・非会員を問わず、歯科医療に携わるすべての方々が、よりよい医療と健康支援を実現するための学びと交流の場を提供してまいりました。その一環として年に一度のシンポジウム「ヘルスケアミーティング 2025」を11月に開催します。

ヘルスケアミーティングは、単なる学術発表の場ではなく、日々の診療や地域での実践を通じて得た「気づき」や「工夫」を、参加者同士で共有し、ともに学び合うことを目的としております。歯科医師のみならず、歯科衛生士、歯科技工士、受付・事務スタッフ、学生など、多職種・多様な立場の方々が、垣根を越えて参加し、自分たちの現場の声を発信することができる非常に有意義な場となっております。私はこのたび、恒例となっているポスター発表の担当者となりました。

ポスター発表では、今回、ペリオやカリエスの症例発表をメインとしておりますが、日常診療のなかでの実践や取り組み、小さな工夫や改善、あるいは地域との関わり方などを「見える化」し、来場者と直接意見交換を行うことができます。形式張った研究発表ではなく、「こんな工夫をしたら患者さんの反応が変わった」「こういうチーム連携で診療の質が上がった」「院内でこんな取り組みを始めてみた」など、現場での生きた経験を共有することが、何よりも大きな学びの源泉になります。

ポスター発表と聞くと、学術的な研究や専門的なデータが必要と思われがちですが、大切なのは「現場での実践を言葉にし、共有すること」です。「こんなことでもいいのだろうか？」と思われるような取り組みこそが、他の方々にとって大きな学びとなる場合があります。

実際、過去の発表でも、患者さんとのちょっとした関わり方の工夫や、スタッフ間の情報共有の改善策など、「自院で当たり前になっていたこと」を発信したことで、多くの共感と反響を呼んだケースが数多くありました。

今回はすでに定員数に達したため、募集は締め切りましたが、発表経験がない方、初めての学会参加となる方も大歓迎です。

エントリーから発表当日まで丁寧にサポートいたしますので、次回どうぞ安心してご応募ください。

ヘルスケアミーティングが、みなさま一人ひとりの実践を通して、よりよい医療の未来をともに描いていく機会となることを願っています。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。